

【設計内容説明書】

(設備機器一覧表)

建築士名:					番号:				
物件名称:					5地域	誘導基準			
1)~4) 断熱部位	断熱工法	仕様 (製品名又は断熱材の種類)			熱伝導率	断熱材厚さ	熱抵抗R		
1) 屋根	充填断熱(軸組)	アクリアフォームライト			0.036	170	4.7		
天井	充填断熱(軸組)	アクリアネクスト			0.038	155	4.0		
2) 壁	充填断熱(軸組)	アクリアフォーム			0.036	85	2.3		
3) 床	その他の部分	充填断熱(軸組)	フェノバボード			0.02	45		
	外気に接する部分	充填断熱(軸組)	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA			0.028	100		
4) 基礎壁	その他の部分	内断熱	スタイロエースⅡ			0.028	20		
	外気に接する部分	内断熱	スタイロエースⅡ			0.028	50		
5) 開口部	仕様 (製品名又は建具/枠とガラスの種類)					熱貫流率U 日射取得率η	基準値		
性能基準	ドア	玄関ドア	1 個別自己適合宣言書を添付				1 U≤ 2.3		
		勝手口ドア	1 個別の自己適合宣言書を添付				1 U≤ 2.3		
	窓	熱貫流率:U	1 ○				1 U≤ 2.3		
		日射取得率:η	1 ○				η≤ 0.59		
仕様基準	玄関ドア		熱貫流率:U	LIXIL ジエスタⅡ			2.33 U≤ 2.3		
	窓	有効なひさし・軒等がある		熱貫流率:U	LIXIL サーモスⅡ				
		有効なひさし・軒等がない		日射取得率:η	LIXIL LOW-E2層複層ガラス(日射遮蔽型)				
				日射遮蔽対策 (右記のいずれか)	<input checked="" type="checkbox"/> 開口部の日射熱取得率が 0.59 以下であるもの <input checked="" type="checkbox"/> ガラスの日射熱取得率が 0.73 以下であるもの				
		住宅仕様基準の緩和措置		熱貫流率:U	<input checked="" type="checkbox"/> 床面積2%緩和 場所: 勝手口ドア				
				日射取得率:η	<input checked="" type="checkbox"/> 床面積4%緩和 場所: 便所				
6) 構造熱橋部 ※なければ記入不要	断熱補強の範囲			mm	断熱補強の熱抵抗値		(m ² ·K)/W		
設備機器 種類				仕様(製品名等)			効率等		
暖房	主たる居室	ルームエアコン		施主支給(入居後に設置)					
	その他の居室	設置しない							
	住戸全体								
冷房	主たる居室	ルームエアコン 区分(い)又は(ろ)		施主支給(入居後に設置)					
	その他の居室	設置しない							
	住戸全体								
換気設備		壁付け式第二種または第三種		Panasonic FY-T12VBD2A			有効換気量率:0.95		
熱交換設備		—					温度交換効率:83%		
給湯設備	設備の有無	給湯設備あり	ふろ機能の種類	—	配管	—			
	熱源機	エコキュート		コロナ:CHP-37AY5			JIS効率:3.3		
水栓	台所	—	□ 水優先吐水(C1) □ 手元止水(A1)						
	浴室シャワー	—	□ 小流量吐水(B1) □ 手元止水(A1)						
	洗面	—	□ 水優先吐水(C1)						
高断熱浴槽		—							
太陽光発電		—	□ 結晶シリコン系以外						
コージェネレーション		—							
照明設備	主たる居室	—	□ 調光可能な制御 □ 多灯分散方式						
	その他の居室	—	□ 調光可能な制御						
	非居室	すべてLED、蛍光灯又は入居後に設置	□ 人感センサー						

記載図書: 平面図 仕様書 計算書 立面・矩計図 ※完了検査時に設置されている設備を入力して下さい。

■木造戸建住宅の仕様基準（自己チェック表）※外皮性能基準、設置する設備が仕様基準に適合するか確認して下さい。

■【外皮性能基準】断熱材の熱抵抗R・開口部(窓、ドア)の熱貫流率U・日射遮蔽対策

◆断熱材の熱抵抗R

※1つの部位に複数の仕様がある場合は、全ての仕様について確認し、性能が低い仕様（熱抵抗Rが小さい方）を記入してください。

◆開口部(窓、ドア)の熱貫流率Uと日射遮蔽対策

※熱貫流率については、窓は建具とガラスの組合せ、ドアは枠と戸の組合せに基づく熱貫流率Uを確認してください。

※日射遮蔽対策については、窓の日射熱取得率ηイータを確認してください。

※仕様が複数ある場合は、全ての仕様について確認し、熱貫流率Uについては性能が低い仕様（熱貫流率Uが大きい方）、日射遮蔽対策については窓の日射熱取得率ηイータが大きい仕様を記入してください。

■【省エネ基準】設備機器仕様

断熱等級4※以上かつ一次エネルギー消費量等級4以上 ※結露発生防止対策の基準を除く

◆暖冷房設備

住戸全体を暖冷房

ダクト式セントラル空調機で、ヒートポンプを熱源とするもの

居室のみを暖冷房

※暖房と冷房の両方について、以下のいずれかの設備機器であることを確認してください。

※一部の居室に暖冷房設備機器を設置しない場合は、暖冷房設備機器を設置する居室だけで確認してください。

【暖房】 パネルラジエーターで、①～③のいずれかを熱源としつつ配管に断熱被覆があるもの

① 石油潜熱回収型温水暖房機【エコフィール】の熱効率87.8%以上

② ガス潜熱回収型温水暖房機【エコジョーズ】の熱効率82.5%以上

③ 電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒に限る）

ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）又は（ろ）のもの

FF暖房機の熱効率86.0%以上のもの（4地域に限る）

【冷房】 ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）又は（ろ）のもの

設置しない

※すべての居室に暖冷房設備機器を設置しない場合は、「設置しない」を選択してください。

※居後に設置する場合やまだ機器が決まっていない場合は、「設置しない」を選択してください。

◆換気設備

非消費電力（熱交換機ありの場合は非消費電力を有効換気量で除した値）が0.3W以下の換気設備

ダクト式第一種換気設備（熱交換なし）：ダクト内径が75mm以上で、かつDCモーター（直流）のもの

ダクト式第二種又は第三種換気設備：ダクト内径が75mm以上のもの

壁付け式第二種又は第三種換気設備

◆給湯設備

石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】：モード熱効率77.8%以上のもの

ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】：モード熱効率78.2%以上のもの

電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】

◆照明設備

非居室の全ての照明に、LED又は蛍光灯を設置している。

□【誘導基準】設備機器仕様

断熱等級5※以上かつ一次エネルギー消費量等級6以上 ※結露発生防止対策の基準を除く

◆暖冷房設備

住戸全体を暖冷房

【ダクトセントラル空調機】：以下の全ての仕様に該当すること

ヒートポンプ式熱源

可変風量制御方式（VAV方式）であるもの

断熱区画内に全てのダクトを設置するもの

熱交換換気設備を採用

居室のみを暖冷房

※暖房と冷房の両方について、以下のいずれかの設備機器であることを確認してください。

※「主たる居室」と「その他の居室」でそれぞれ確認する必要があります。

【暖房】 パネルラジエーターで、以下のいずれかを熱源としつつ配管に断熱被覆があるもの

石油潜熱回収型温水暖房機【エコフィール】

ガス潜熱回収型温水暖房機【エコジョーズ】

電気ヒートポンプ温水暖房機（フロン系冷媒に限る）

ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）のもの

【冷房】 ルームエアコンディショナーで、エネルギー消費効率の区分が（い）のもの

◆換気設備

热交換型換気設備を採用しない

非消費電力が0.3W以下の換気設備

ダクト式第一種換気設備：ダクト内径が75mm以上で、かつDCモーター（直流）のもの

ダクト式第二種又は第三種換気設備：ダクト内径が75mm以上のもの

壁付け式第二種又は第三種換気設備

热交換型換気設備を採用する：以下の全ての仕様に該当すること

ダクト式第一種換気設備：ダクト内径が75mm以上、有効換気量率が0.8以上、かつDCモーター（直流）のもの

温度交換効率が70%以上のもの

◆給湯設備

石油潜熱回収型給湯機【エコフィール】：モード熱効率84.9%以上で、※1、※2の省エネ対策をしているもの

ガス潜熱回収型給湯機【エコジョーズ】：モード熱効率86.6%以上で、※1、※2、※3の省エネ対策をしているもの

電気ヒートポンプ給湯機【エコキュート】：JIS効率3.3以上で、※1、※2、※3の省エネ対策をしているもの

※1ヘッダー分岐後の全ての配管径が13A以下

※2浴室シャワー水栓に手元止水機構及び小流量吐水機構を有すること

※3高断熱浴槽の省エネ対策をしているもの

◆照明設備

全ての照明設備がLED又はこれと同等以下の性能を有すること